

B-2 題材指導計画

題材指導計画（3時間）

時	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・支援	評価規準 (観点・評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的を知る。 ・ コールユーブンゲンを視唱・リコーダー視奏し、二度音程をつかむ。 ・ Believe の親しみやすい旋律に関心を持ち、ハーモニーの美しさを感じながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 歌唱やリコーダーの演奏を通して、読譜力を身に付け、ソルフェージュの力を高めることを知る。 ② コールユーブンゲンで二度の音を歌い、リコーダーで視奏をする。 ③ 主旋律とハーモニーパートを視唱し、感想を話し合う。 ④ グループ練習し、二部合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読譜に自信のない生徒には、簡単な楽譜を用意したり、ペア学習で進めること等を知らせる。 ・ 無理のない発声法で歌うことと、長短二度音程の違いに留意するように助言する。 ・ タンギングや息の使い方による音程の変化に意識してふくことと、A・H音の運指に注意するように指導する。 ・ 音程の取りにくい部分は繰り返して練習する。 ・ 話し合われた歌詞の意味を補足説明し、曲想を考えながら歌うように助言する。 ・ 音程の取りづらいパートを一緒に歌い、指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜を見て、二度の音程やリズムに関心を持ち、意欲を持って表現しようとしている。 (観点1:観察・ワークシート) ・ 美しいハーモニーで歌うことや曲想を感じ取って歌うことに関心を持って表現している。 (観点1:演奏聴取・観察)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の復習をする。 ・ コールユーブンゲンの視唱や、リコーダーでの視奏により、二度、三度音程をつかむ。 ・ Believe の構成を知り、より美しいハーモニーで表現を作るための工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① コールユーブンゲンを歌い、リコーダーの視奏をする。 ② 全員で歌い、二度、三度音程を感じて歌えるように練習する。 ③ 主旋律とハーモニーパートをグループで交互に歌い、音程を確かめ合唱練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音程の取りづらい生徒や運指を忘れた生徒への指導をする。 ・ コールユーブンゲンで 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コールユーブンゲンで学習した音程がどのようになっているか、関心を持って表現

<p>・リコーダーで旋律を演奏する。</p>	<p>④ Believe の構成を知り、より美しいハーモニーで表現する。</p> <p>⑤ 旋律を音名唱する。</p> <p>⑥ 正しい運指でリコーダーが吹けるように練習する。</p>	<p>認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長三度、短三度それぞれの音程の違いに気づくようにピアノで弾いて比較する。 ・ハーモニーの部分も三度音程で成り立っていることに気づかせる。 <p>・F→A音、G→H音の親指の運指を取り出して範奏を示す。</p> <p>・H音とB音の運指が正確にできているか机間指導で確認する。</p>	<p>している。</p> <p>(観点1:ワークシート・観察)</p> <p>・美しい音色でアルトリコーダーを演奏するための姿勢、呼吸法を工夫している。</p> <p>(観点2:演奏聴取・観察)</p>
<p>3</p>	<p>省略 (C-1 指導案 本時の展開参照)</p>		